

展覧会名

指輪－指先のきらめき－

会 期

2019年6月22日（土）－2019年10月21日（月）

会 場

 山梨ジュエリーミュージアム
 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階（山梨県庁）

料 金

無 料

お問合せ

山梨ジュエリーミュージアム TEL 055-223-1570

展覧会概要

指輪の起源は古く、約4000年前の古代エジプトで、すでに指輪がつくられていたと言われています。

日本で一般に指輪が知られるようになったのは江戸時代後期（1716～1853年）になります。その後、明治20年代には雑誌や新聞の広告に指輪が登場するようになり、明治30年代に入ると指輪は広く流行していきます。そのことから和装の時代においても、指輪は受け入れやすい装身具だったと言えるでしょう。

水晶加工の技術から宝飾の歴史がはじまった山梨では、明治7年（1874年）に甲府で水晶指輪の取引がなされた記録が残っています。明治26年（1893年）頃には水晶研磨と貴金属加工（銙（かざり））が結びつき、水晶を指輪状にくり抜いて内側に金の輪をはめこんだ指輪などが制作され、人気を博しました。

昭和36年（1961年）ダイヤモンドと色石の輸入の自由化、続いて昭和48年（1973年）に金の輸入が自由化され、色あいやデザインの幅が広がったことにより、多彩なジュエリーが生み出されるようになっていきます。

指輪は身に着けているときに自分でも見ることができるジュエリーです。デザインや着ける指の位置によって印象は変わり、自分自身の気分を変えることもできるものです。

とても身近な装身具である指輪は、山梨でも時代のニーズを踏まえ、卓越した技術を用いて数多く制作されています。日々彩りを添える、豊かな指輪のバリエーションをお楽しみください。

主な展示作品



1 株式会社G A I A G E M
 2 株式会社サイキ宝飾
 3 株式会社コダマ
 4 株式会社望月貴石貿易

同時開催

「山梨県立宝石美術専門学校 宝美展」

2019年6月22日（土）－7月29日（月）

「第9回水晶彫刻若手作品展」

主催：山梨県水晶美術彫刻協同組合 青年部

2019年8月3日（土）－9月9日（月）

「JJA ジュエリーデザインアワード 2019 ー日本ジュエリーの最高峰を求めてー」

主催：一般社団法人 日本ジュエリー協会

2019年9月18日（水）－10月7日（月）

体験工房のご案内

山梨ジュエリーミュージアムでは、土、日、祝日にジュエリー制作が体験できるプログラムをご用意しています。ジュエリー産地、山梨で活躍している職人の指導のもと「山梨ジュエリー」のワザを体験できます。



広報用画像

本展覧会をご紹介して頂ける場合に限り、上記掲載の作品画像データを提供いたします。当館サイトからダウンロードできますので、メールでお問い合わせください。ダウンロードアドレスをご連絡します。なお、お問い合わせの際は、下記内容を合わせてお知らせください。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ① 希望する作品画像の番号・タイトル | ④ 所在地・電話 |
| ② 媒体名・掲載（公開）予定日 | ⑤ メールアドレス |
| ③ 御社名・ご担当者名 | |

【重要】プレス画像のご利用にあたって、必ずお読みください。

- ① プレス画像の利用は、当該画像に係る展覧会または当館に関する記事掲載の目的での利用に限ります。
- ② プレス画像の掲載に際しては、作家名、作品名、作品情報など所定のクレジットを必ず記載してください。
- ③ 校正の段階で原稿を山梨ジュエリーミュージアム 広報担当宛（jewelry-museum@pref.yamanashi.lg.jp）にお送りください。
- ④ プレス画像は全図でご使用いただき、トリミングや文字乗せ等は行わないでください。また、画像が無断で第三者に利用されることのないよう、コピーガード、転載不可の明記など、必要な措置を講じてください。
- ⑤ 画像データは使用後速やかに破棄してください。データの保存および第三者への提供はお控えいただくようお願いします。
- ⑥ 取材の内容及び借用画像が収録・掲載されたサイト・番組等はDVD1枚、印刷物については、現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご寄贈ください。

※媒体掲載にご使用いただける印刷用の高解像度（300-400dpi）とオンライン用の低解像度（72dpi）の2種類の画質をご用意しております。